

日本とドイツの架け橋 日独協会

公益財団法人 日独協会
会長 東原 敏昭



明治維新以降、日本は社会制度、科学技術、医学、芸術などの整備・育成に当たり、多くの分野でドイツを参考とする中で、ドイツとの関係を深めました。

当協会は、前身となる日獨協會在明治末期の1911年に設立されて以来、1世紀以上にわたり民間レベルでの両国の交流を促すことで、そうした関係の深化に貢献してきました。

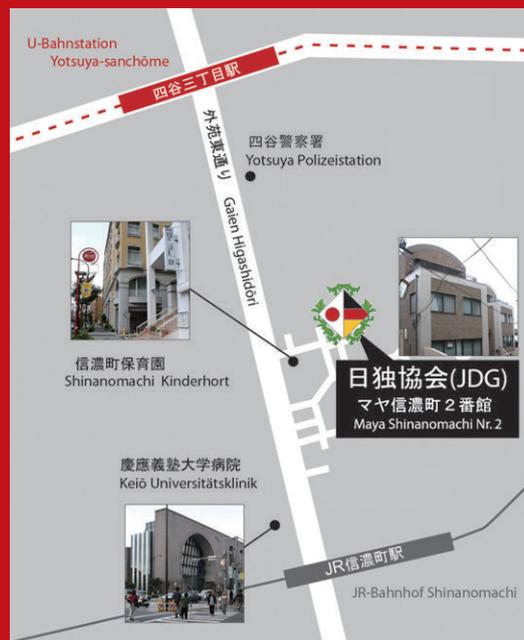
20世紀前半の二度にわたる世界大戦の惨禍を経たあと、両国は奇跡的な経済復興を果たす中で、法の支配を重視する民主主義国家としての地位を国際社会の中で共に高めてきました。

現在両国は、環境・エネルギー問題、人権重視、価値観の多様化、人口減少などの課題先進国としても、互いに学び、協力できる分野が一層増えています。

当協会が会員の皆様にこうした情報の交換や交流の機会をご提供することで、両国および両国民間の交流がさらに発展していくことを願って活動を続けています。

アクセス

- JR 総武線 信濃町駅より徒歩6分
- 東京メトロ丸の内線 四谷三丁目駅より徒歩8分

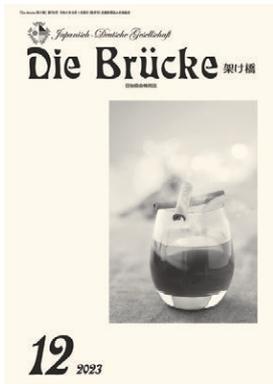


公益財団法人 日独協会
JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT

〒160-0016
東京都新宿区信濃町 18-39
マヤ信濃町 2 番館
TEL : 03-5368-2326
E-Mail : jdg@jdg.or.jp
URL : <https://www.jdg.or.jp>



公益財団法人 日独協会
JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT



活動

1. ドイツの文化、歴史、時事問題等の紹介

ドイツ語圏文化セミナー、懇談会サロン、独逸塾、時事問題研究会など様々なイベントや勉強会を通じてドイツ語圏の文化、歴史、社会、政治経済を紹介しています。ワイン試飲会などドイツの食文化を体験する催しも好評です。

2. ドイツ語の普及

ドイツ語の普及を目的にドイツ語講座（オンライン、一部対面）を開設しています。通年で実施している通常クラスのほかに、春と夏に短期集中講座も設けています。ドイツ人との会話を楽しめる Sprachcafé / Sprachkneipeなどのイベントもあります。

3. 交流機会の提供

クリスマスの集い、ピクニック、新入会員懇親会、ドイツゆかりの史跡等を巡る「ぶらドイツ」、オンライン日独言語交換会 Sprachtreffなど、日本人とドイツ人、そして会員同士が交流できる機会を提供しています。

4. 情報発信

ドイツ語圏の文化を中心とする様々なテーマの読み物や情報、協会活動報告、読者寄稿文を掲載した会報誌「Die Brücke 架け橋」を隔月で発行しています。

このほか、情報ペーパー「Der Brückenpfeiler」、メールニュース、各種SNS (FB、Instagram、X等) を通じてイベントの開催予定などの最新情報を提供しています。

協会概要

沿革

1911年10月 前身の日獨協會設立
1952年7月 (財)日独協会として活動再開
2010年10月 公益財団法人に移行

会員 (2023年末現在)

個人 590名

法人 48社

会長

東原 敏昭

(株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役)

ご入会

協会の活動は、個人・法人の維持会費および寄付金によって支えられています。

会員特典

- ・会員限定イベント(日独言語交換会など)への参加
- ・協会会報誌のお届け
- ・ドイツ語講習会・各種イベント参加費の優待
- ・提携店でのサービス/コンサートなどの割引

会員種別・年会費

個人維持会員	7,000円
ユース会員(30歳未満)	4,000円
学生会員(30歳未満)	2,000円
家族会員(2名)	10,000円
海外会員	5,000円
法人会員	100,000円

当協会は公益認定を受けているため、当協会へのご寄付は所得税・法人税の控除対象となります。